

## 今週（6月30日から7月4日）の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、四半期末を跨ぐ週となり、30日(月)こそ調達を控える先が一部見られたが、ビッドサイドの資金調達ニーズの強い状況に変わりはなく、出合い水準も週を通して0.475~0.478%の横ばい圏での推移となった。そのため、加重平均レートについても、3日(木)までは0.477%で安定して推移し、4日(金)も同水準での取引が中心となった。

ターム物は、四半期末を通過したことあり、1W~3M程度の期間で引き合いが見られた。早期の追加利上げ観測の後退もあり、出合いの水準は前月対比で概ね横這い圏で推移している。

日銀当座預金残高は、529兆円程度からスタートし、1日(火)、2日(水)の税揚げ・保険料揚げを主因に521兆円台まで減少した。その後は3日(木)の国債買入れオペを受けて微増となり、522兆円程度での着地が見込まれる。

### ●レボ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、0.48~0.51%近辺で推移した。  
SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン概ね横ばいで推移した。

4日(金)に実施された3M物入札は事前予想に比べ強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも強含みで推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、石油、電気・ガス、不動産などの業態で大型発行が見られた。

市場残高については、四半期末要因により30日(月)に24兆円弱まで減少したが、CPでの資金調達需要の強い状況に変わりはなく、期明け後は再び緩やかに増加し、3日(木)時点で24兆円台後半まで回復している。

発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られるが、1M以内の短い期間の発行では、0.5%を下回る水準での発行も散見された。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/30 (月)	40,487.39	1.430	144.74	0.477	0.488	5,291,500
7/1 (火)	39,986.33	1.410	143.64	0.477	0.491	5,268,000
7/2 (水)	39,762.48	1.425	143.60	0.477	0.487	5,211,000
7/3 (木)	39,785.90	1.440	143.56	0.477	0.490	5,224,500
7/4 (金)	39,810.88	1.435	144.60	0.477	0.494	5,219,400

## 来週（7月7日から7月11日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
7/7 (月)	5月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 6月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 5月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)			
7/8 (火)	5月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 6月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	5Y 7/9発行 24,000億円	交付税借入 7/17借入 11,000億円	5月の米消費者信用残高
7/9 (水)	6月のマネーストック(日銀 8:50)	TDB 6M 7/10発行 35,000億円		5月の米卸売売上高
7/10 (木)	6月の企業物価指数(日銀 8:50)	20Y 7/11発行 8,000億円	I補特 <sup>レ</sup> -借入 7/22借入 8,029億円	
7/11 (金)		TDB 3M 7/14発行 43,000億円		6月の米財政収支

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給予因
7/7 (月) 日銀予想	400	5,900	6,300	国債補完	2,100		2,100	8,400	TDB3M発行▲43,000償還45,000
7/8 (火) 弊社予想	1,200	▲1,000	200				0	200	
7/9 (水) 弊社予想	500	▲24,000	▲23,500	共通担保	▲8,000		▲8,000	▲31,500	5Y発行▲24,000
7/10 (木) 弊社予想	▲500	5,000	4,500				0	4,500	TDB6M発行▲35,000償還35,000
7/11 (金) 弊社予想	▲500	▲18,000	▲18,500				0	▲18,500	20Y発行▲8,000
週間合計	1,100	▲32,100	▲31,000	—	▲5,900	0	▲5,900	▲36,900	

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き強い資金調達ニーズを背景に、0.475~0.478%程度での出合いが予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.48~0.50%程度での推移が予想される。短国市場は、9日(水)に6M物、11日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、特段大きなイベントは無く、今度の利上げ動向や市場残高がどの程度積み上がるかが注目される。

主要なイベントは、国内では、7日(月)に5月の毎月勤労統計調査速報、8日(火)に5月の国際収支、10日(木)に6月の企業物価指数、海外では、9日(水)に5月の米卸売売上高、11日(金)に6月の米財政収支などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入